市民まちづくり会議　資料

日野市まちづくりマスタープラン　（概要版）

全体構成	
序章	**・まちづくりマスタープランの位置づけと役割　…3** ・策定経緯 **・計画の目標年次・将来想定人口　…2** **○ 日野市の概況　…2** **○ 時代の変化に対応したまちづくりの課題　…2** **○ マスタープラン改訂の基本的な考え方　…2**
第一部 日野のグランド デザイン	第Ⅰ章　まちづくりの基本理念 ・まちづくりの定義・目的・原則 ・まちづくりの責任と役割 第Ⅱ章　日野市の目指す姿とまちづくりの方向性 **1　将来都市像　…3** **2　４つの基本方針　…3** 1）記憶と文化を伝えるまち 2）暮らしの舞台を支えるまち 3）人々が活発に活動するまち 4）まちづくりを支える仕組み **3　都市構造　…4**
第二部 都市計画 マスタープラン	第Ⅲ章　全体構想 **・土地利用基本計画　…5** **・まちづくり基本計画　…5～11** 第Ⅳ章　地域別構想 （地域別まちづくり方針） ・地域別まちづくり詳細計画の位置付けと役割 **・地域別まちづくり方針　…12~15** ○大坂上中学校地域 ○第一中学校地域 ○第二中学校地域 ○第四中学校地域 ○平山中学校地域 ○七生中学校地域 ○三沢中学校地域 ○第三中学校地域

序章　マスタープラン改訂の基本的な考え方

日野市の概況

（人口）
・17.7 万人（2005 年）から 18.6 万人（2015 年）へ増加
・高齢人口は 6.3%増、生産人口は 7.8%減、年少人口比は変わらず。
・市南部の丘陵部は人口減

（都市基盤）
・日野バイパスの全線開通など、都市計画道路や区画整理事業等が進行
・ミニバス再編・拡充、ワゴンタクシー導入など公共交通の充実

（経済動向）
・就業者数は 5.4 万人（2006 年）から 4.9%減少（2014 年）
・商業・工業・農業いずれも就業者は減少傾向
　…イオンモール等の進出。一方で京王ストア等の撤退もあり。
　…基幹産業である日野自動車工場移転、東芝･メグミルク等の工場撤退

（生活支援施設の立地状況）
・スーパーや診療所、子育て支援施設や介護サービス施設の利用圏域に地域格差がみられる

（住環境）
・日野台･万願寺･川辺堀之内等で区画整理が進行
・丘陵部においても依然新規の住宅開発等が進行
・旧市街地や丘陵部の住宅地等で空き家が発生

（防災）
・急傾斜地崩壊危険箇所、浸水想定区域が存在

今後、社会情勢の変化等により顕在化する問題等

○人口減少社会の到来と急激に進む高齢化
○都市インフラの一斉更新時期の到来
○老朽化が進む団地の更新
○生産年齢人口の減少や扶助費増加による自治体財政の硬直化
○周辺都市との差別化
○女性や若い世代の暮らし方の多様化
○健康寿命の延伸
○農地や樹林の減少
○安全･安心への関心の高まり

改訂方針

●現行計画に基づくまちづくりの成果を評価し、今後対応すべき課題を反映した計画とする。

●計画の構成については現行のマスタープランを基本とするが、社会情勢の変化等を踏まえ、新たに目指すべき都市像を設定し、その実現に向けた方策を整理する。

改訂の視点

『暮らしの価値を高めるために』

- ●高齢化への対応
- ●子育て環境の充実
- ●安心･安全な暮らし
- ●水とみどりの豊かな暮らし
- ●暮らしを支える交通環境
- ●まちの活力と産業

まちづくりの課題に対する方針

●今ある地域資源を活用し、高齢者が元気に活動する環境を整える

○高齢者が元気に歩いて暮らせる自然を活かした環境づくり
○高齢者が集まる居場所づくり、活動を後押しする環境づくり
○高齢者が地域で生き看取られる安心で便利な地域づくり

●若い世代･子育て世代の働き方･暮らし方を受け入れる環境を整える

○子育て世代が地域とつながりを持てる交流の居場所づくり
○世代の枠を超えて子育てができる環境･地域づくり
○在宅ワークなど多様な働き方を選べる環境づくり

●災害に備えて地域を知り、地域の防災力を向上する

○自然災害に柔軟に対処できる防災計画づくり
○安心して暮らすための、地域住民主体の防災まちづくり
○老朽団地等の空きストックを地域資源と捉え活用するまちづくり

●水と緑･農と共にある暮らしの価値を再確認し、まちづくりに活かす

○水･緑･農、自然の価値の再確認と保全と活用の仕組みづくり
○日々の暮らしに水･緑･農のある環境づくり
○自然や農を活かした魅力ある場づくり

●地域ニーズや地域の変化に応じて公共交通網を再編する

○丘陵地等の不便区域における公共交通の再編
○地域ニーズ等に応じた公共交通の仕組みづくり

●市の活力となる既存の産業をまちづくりに活かす

○歴史･文化等の特性や地域ニーズに応じた３駅周辺のまちづくり
○工業系企業と連携し共存するまちづくり
○水･緑･農の魅力を活かしたにぎわいづくり

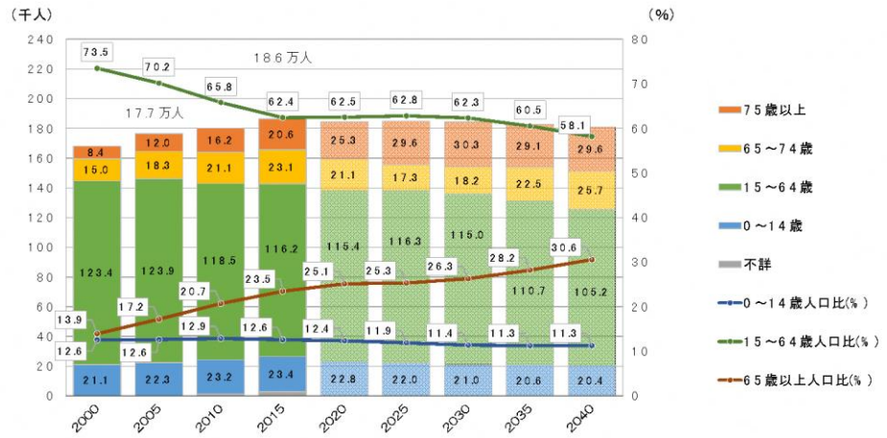
●地域の暮らしを支える仕組みをつくる

○高齢化等の進行する丘陵部等の暮らしを維持するまちづくり
○空き家や団地等の空きストックを活用したまちづくり
○地域コミュニティを支えあう仕組みづくり

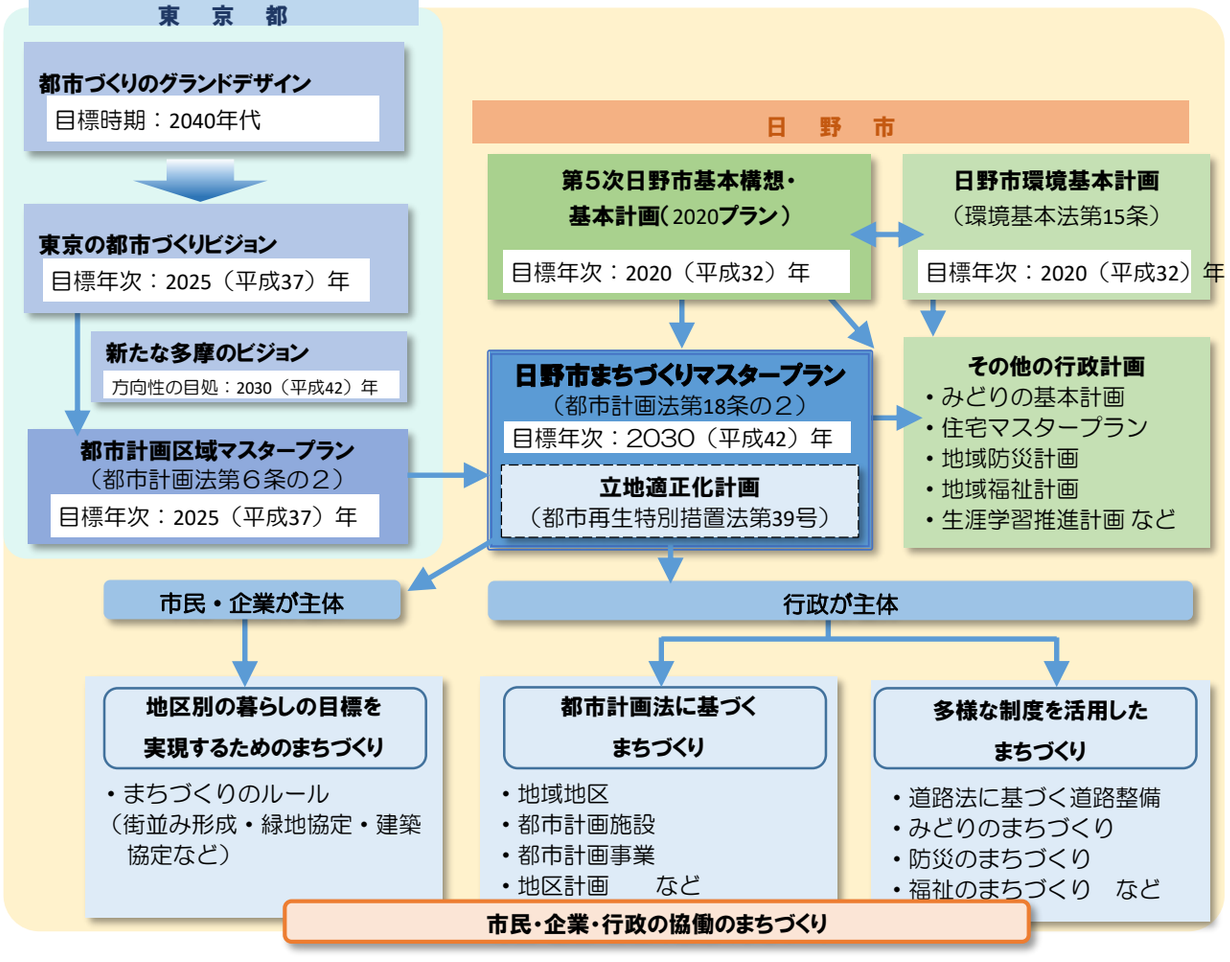
・想定人口と目標年次

本計画における目標年次は、2019年（平成31年）を基準年次として、10年後の2029年、将来想定人口は185,000人とします。

人口の推移（2005～2015年）**と人口推計**（2020～2040年）



・まちづくりマスタープランの位置づけ



1　将来都市像

まちづくりの基本理念

①市民が主役のまち
②水とみどりのまち
③つながりを大切にするまち
④持続可能なまち

「ともに創ろう心つながる夢のまち日野　～水とみどりを受けつごう～」

第5次日野市基本構想・基本計画（2020プラン）

2　４つの基本方針

- 1）記憶と文化を伝えるまち

1）日野の気候風土の産物である自然環境の保全と継承
・多摩丘陵や崖線の樹林地、湧水、水田や用水、そして多摩川や浅川など、水と緑の自然環境を次世代に継承する

2）生活の履歴である歴史・文化資源の保全と継承
・甲州街道の街道筋や高幡不動など、先人たちの暮らしを感じ取れる歴史･文化資源をまちづくりに活かす

2）暮らしの舞台を支えるまち

1）将来も変わることなく住み続けられるまちづくりを進める
・超高齢社会の中、すべての人が安心して健康でいきいきと暮らせる、生活圏を形成する

2）多彩な市民の交流と連携を生み出す交通環境の整備
・それぞれの生活圏相互の往来をしやすくし、市民の多様な活動をつなぐ交通環境を整備する

3）人々が活発に活動するまち

1）買い物や生活利便性など日々の暮らしの価値を高める
・日野、豊田、高幡不動の３拠点への都市機能の集積や、交流や文化拠点の相互の連携を強化し、日々の暮らしの利便性を高める

2）日野を支えてきた産業とともに、新たな産業を創出し活力ある都市をつくる
・既存の企業との連携により産業と住環境の調和したまちづくりを推進するとともに、医療･福祉･教育など、住宅都市のニーズに応える新たな都市型産業を創出する

4）まちづくりを支える仕組み

時代と社会のニーズの変化の中、市民一人ひとりが日野を良くしていこうと思えるようなまちづくりを実現するため、まちづくり条例等の仕組みを活用していく

3　都市構造

日野の記憶と文化を伝える

- 多摩川・浅川
- 農地
- 公園・緑地
  （水と緑の保全と活用）

日野の暮らしの舞台を支える

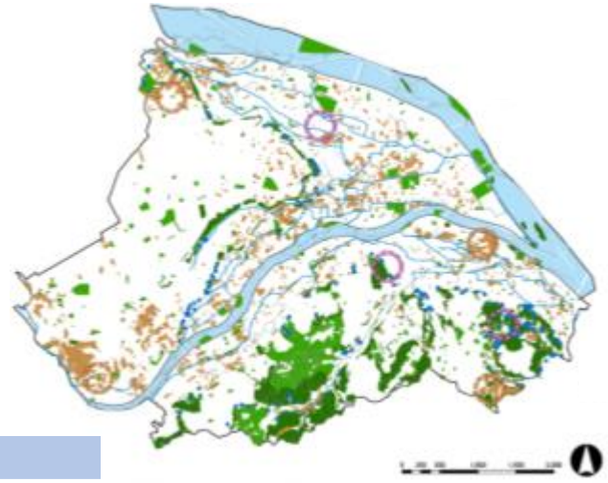
- 3大拠点（日野駅、豊田駅、高幡不動駅周辺）
- 生活拠点（その他の駅周辺）
- 暮らしを支える主要な道路
- 公共交通網（バスルート）

日野の人々が活発に活動する

- 交流･健康･スポーツの拠点
- 歴史･文化の拠点
- 農の拠点
- 活力ある産業の振興
- 都市間連絡道路

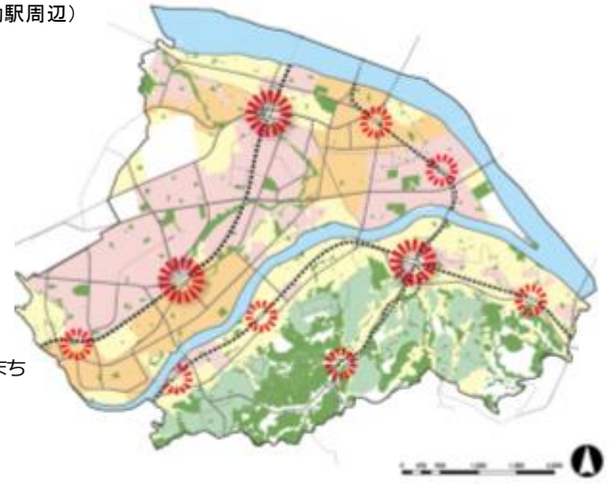
日野の記憶と文化を伝える

- 多摩川・浅川
- 用水
- 湧水
- 公園
- 緑地
- 農地
- 農の拠点
- 歴史と文化の拠点



日野の暮らしの舞台を支える

- 3大拠点（日野駅、豊田駅、高幡不動駅周辺）
- 生活拠点（その他の駅周辺）
- 暮らしを支える主要な道路
- 鉄道
- 公共交通網（バスルート）
- 地域のつながりと絆で安心して暮らせるまち
- 緑や農地と共存する歩いて暮らせるまち
- 成熟した住環境の中で多様な暮らしができるまち
- 豊かな緑に囲まれ住み続けられるまち

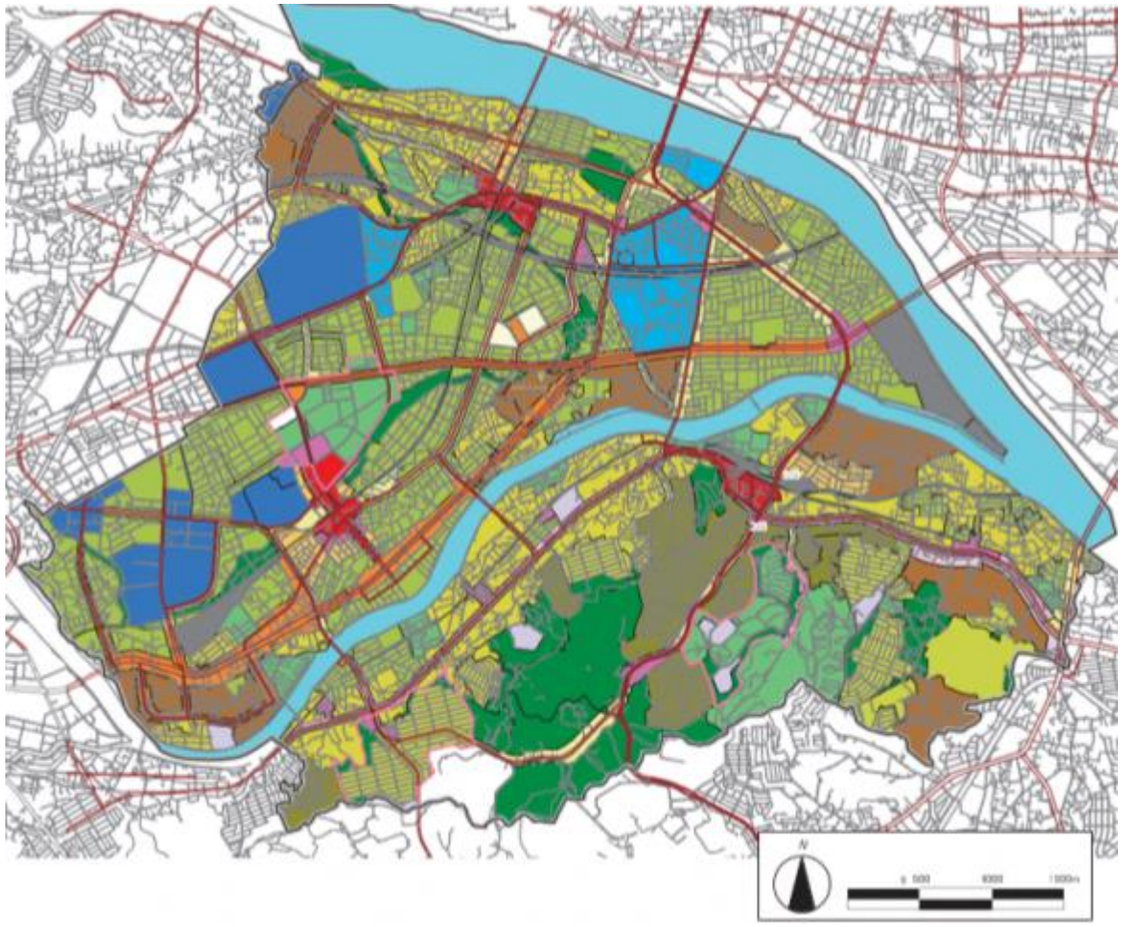


日野の人々が活発に活動する

<交流と活動の拠点>

- 健康･スポーツの拠点
- 歴史と文化の拠点
- 農の拠点
- 周辺と調和した活力ある産業
- 住工が共存するまち
- 市民による農地の保全と活用
- 都市間連絡道路

1　土地利用基本計画



2　まちづくり基本計画

基本方針１ 記憶と文化を伝えるまちをつくる	1－1. 水音と土の香りがするまちをつくる	水と緑の保全	(1)骨格的な水と緑の保全と継承
		水と緑の育成	(2)水と緑のネットワークの形成
	1－2. 日野人・日野文化を育むまちをつくる	景観	(1)日野の風土と歴史を活かした景観の形成
		歴史・文化	(2)歴史を活かしたまちづくりの推進
	1－3. 水と緑の自然の中で心と体の健康を育むまちをつく る	健康	(1)自らの健康を自らでつくる環境の整備
		生涯学習	(2)生涯を通じて学び、スポーツができる機会の充実

基本方針２ 暮らしの舞台を支えるまちをつくる	2－1. 安心して住み続けられるまちづくりを進める	防災	(1)災害に強いまちづくりの推進
		防犯	(2)犯罪や事故が起こりにくい環境の整備
		環境	(3)環境負荷の少ない、自然に配慮したまちづくりの推進
	2－2. 地域の特性を活かした、持続可能なまちづくりを進める	基盤整備	(1)人口減少社会を見据えた都市基盤整備
		既成市街地	(2)成熟した既存住宅地の維持・管理
		維持管理	(3)成熟した生活基盤を守り支える維持管理の推進
	2－3. 多様化する暮らし方を選択し実現できるまちづくりを進める	新たな暮らし方	(1)希望する働き方や暮らし方ができる環境の整備
		住み続けられる仕組み	(2)ライフステージに合わせて選択できる多様な住まいの提供
	2－4. たくさんの人・もの・情報が交差するまちをつくる	道路	(1)人・もの・情報がスムーズに行き交う道路網の充実
		公共交通	(2)暮らしを支える公共交通網の充実
	2－5. 一人ひとりが個性を輝かせ地域で支え合う環境をつくる	地域コミュニティ	(1)地域コミュニティの継続支援
		福祉	(2)地域コミュニティが中心となる福祉対策の推進
		エリアマネジメント	(3)地域の魅力や価値の維持・向上

基本方針３ 人々が活発に活動するまちをつくる	3－1. 買い物やレクリエーションなど毎日の暮らしを楽しめるまちをつくる	商業	(1)ライフスタイルに合わせて自由に買い物ができる環境の整備
		観光	(2)内外から人が集まりにぎわう拠点づくりの推進
	3－2. 日野のまちづくりと共に歩んできた産業とこれからも共に歩む	工業	(1)工業を活性化するまちづくりの推進
		新たな産業	(2)住宅都市の特性を活かした新たな産業の育成
		土地利用転換	(3)地域と共存する土地利用転換の誘導
	3－3. 農地のある暮らしを次世代へつなげる	農地	(1)市民との協働による農地の維持
		農業	(2)生産者と消費者とが協力して次世代へつなげる農業の確立

基本方針１　記憶と文化を伝えるまちをつくる

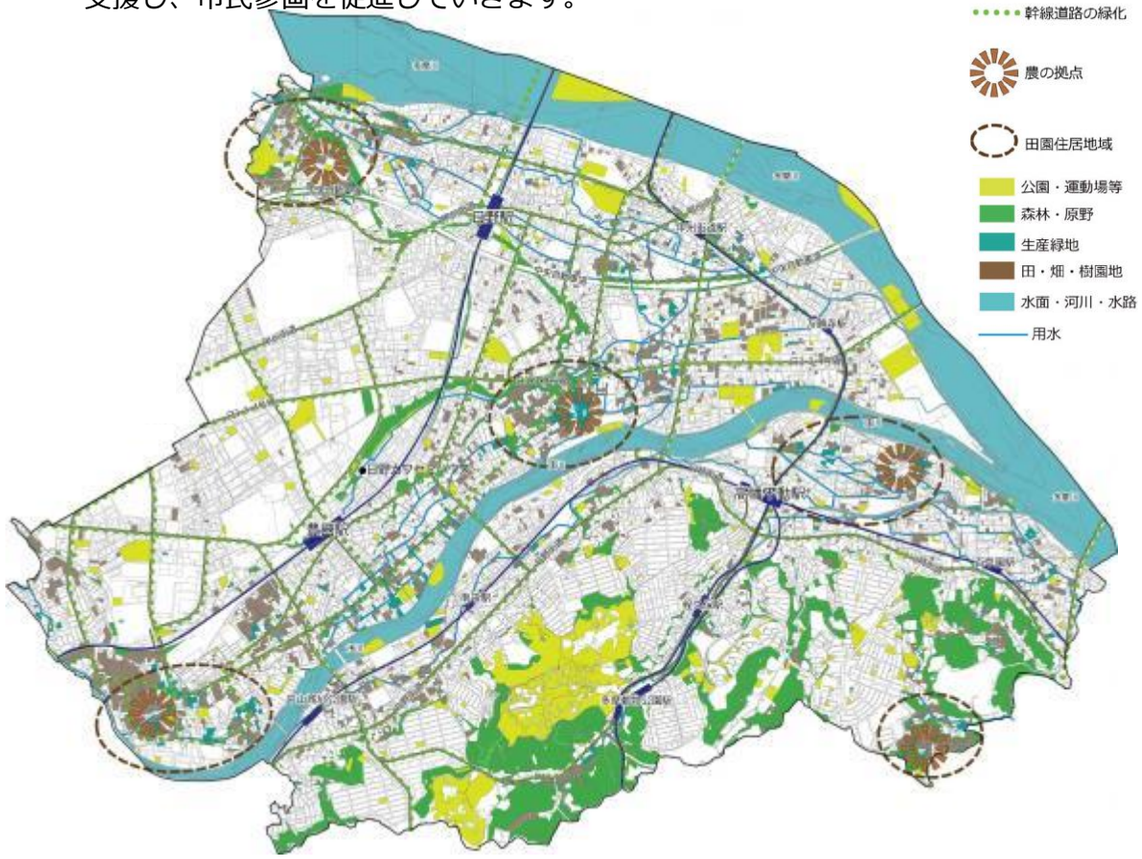
１－１．水音と土の香りがするまちをつくる

①骨格的な水と緑の保全と継承

●浅川・多摩川・程久保川等の河川や用水を「**水の骨格軸**」、浅川や多摩川の氾濫源に広がる農地を「**農の連なり**」、日野緑地や斜面樹林地や湧水を「**緑の回廊**」として保全していきます。
●日野の原風景である、**倉沢・新井・西平山・川辺堀之内・東光寺**地区を「**農の拠点**」と位置付け、農地と調和した住環境の実現に向けて、開発規制等を定める**田園住居地域の指定**を検討していきます。また、農地の利活用の推進するため、**緑の担い手として民間主体を指定する制度**等を検討していきます。
●**浅川と多摩川の合流点**は、生態系や環境面において重要な場所であるため、生物多様性地域戦略とあわせて**景観的に保全すべき環境**と位置付け、**水辺の維持管理**を進めていきます。…④

②水と緑のネットワークの形成

●幹線道路沿道を積極的に緑化していきます。
●住宅地、数多く分布する公共施設、大規模工場・研究所、大規模団地、**多くの人が利用する駅周辺等は積極的に緑化を推進**し、市街地内の緑のネットワーク化を図ります。…③
●みどりの保全や緑化に関する活動をしている市民団体やボランティアの方々を支援し、市民参画を促進していきます。



１－２．日野人・日野文化を育むまちをつくる

①日野の風土と歴史を活かした景観の形成

●多摩川・浅川の**流れ**、崖線と多摩丘陵の**緑**、樹林地に囲まれた**大地**や用水の流れる**農地の景観**など、日野市の**風土を五感で感じる景観**を守り育てていきます。…⑥
●水路については、清流保全条例に基づく**用水の開渠化**などにより、**水路景観の創出**を図っていきます。…②⑦
●景観形成については、景観法に基づく**景観計画・景観条例**のほか、**まちづくり条例による地区まちづくり計画**、**地区計画**等による景観形成など、**複数の手法**について検討を進めていきます。…⑤

日野市観光協会HPより

水辺のある風景日野50選より

②歴史を活かしたまちづくりの推進

●甲州街道、宿場町として栄えた**「日野宿」の「路地」を活かしたまちづくり**を推進していきます。
●『日野宿通り周辺再生・整備基本計画』に基づく、**街並みの再生整備事業等**を検討します。また、地域の様々な**歴史や文化を次世代に継承**するイベント等の開催を支援していきます
●日野の歴史・生活文化財の再発見と交流の場としての活用（旧蚕糸試験場日野桑園等）（テーマ別意見交換会より）

基本方針１　記憶と文化を伝えるまちをつくる

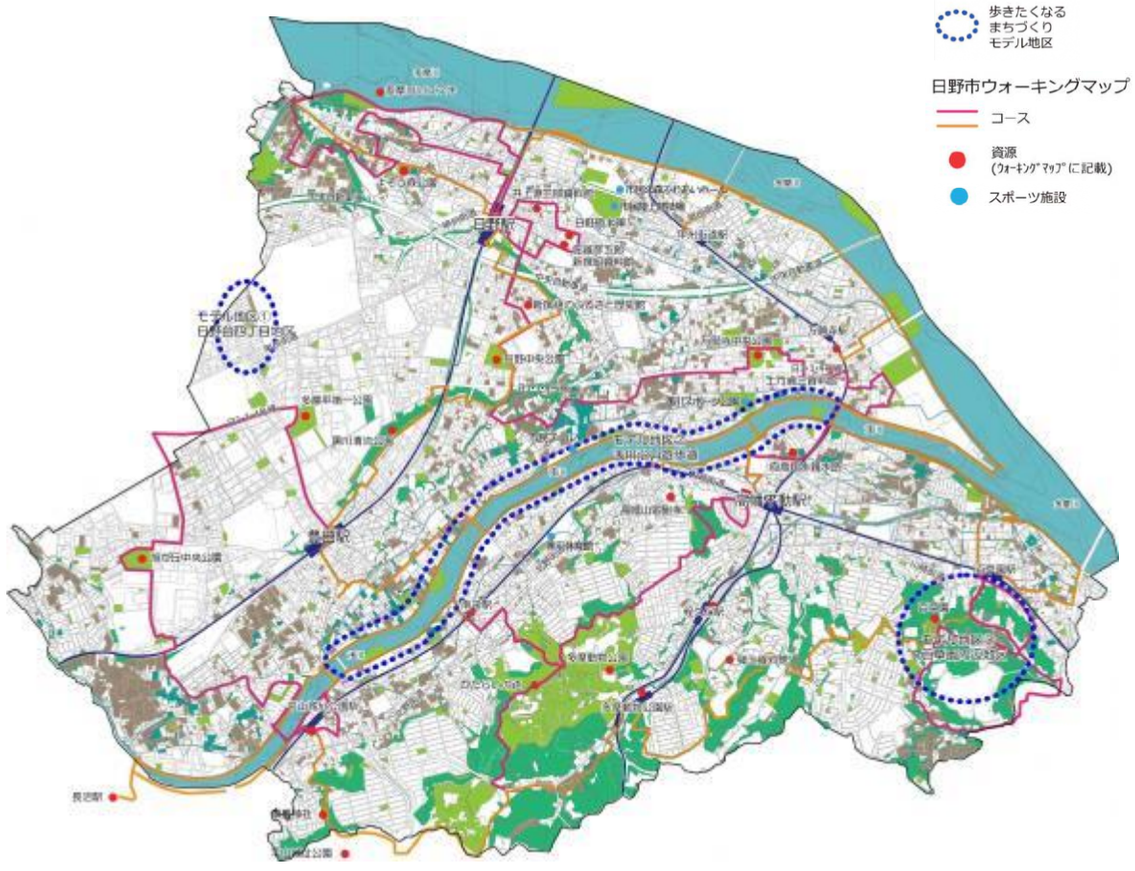
１－３．水と緑の自然の中で心と体の健康を育むまちをつくる

①自らの健康を自らでつくる環境の整備

●**水辺を活かした公**園や**農業公園**など**多世代の交流を生み出す場**を整備します。
●「歩きやすい」「自然と歩きたくなる」といった外出しやすい住宅地の環境を整え、日常生活での健康づくりを実現するため、**ウォーキングルートの設定等の施策**を行う**歩きたくなるまちづくり計画を実施**します。まず歩くことに関して課題のあるモデル地区を選定し、順次回遊できるようなネットワークを整備し、活用します。
●「歩く」だけでなく、**総合的な運動ができる場所**として、身近な公園や小中学校の体育館やグラウンドなど、**既存の施設を活用**し、健康に生活できる環境を整備していきます。…⑧

②生涯を通じて学び、スポーツができる機会の充実

●中核拠点としての**生涯学習センター**・市民が運営する**交流センター**・身近な生活拠点としての**地区センター**については、全体計画に基づいて**適正な規模を検討**し、拠点の再編や必要に応じた整備・活用を進めていきます。



基本方針２　暮らしの舞台を支えるまち

２－１．安心して住み続けられるまちづくりを進める

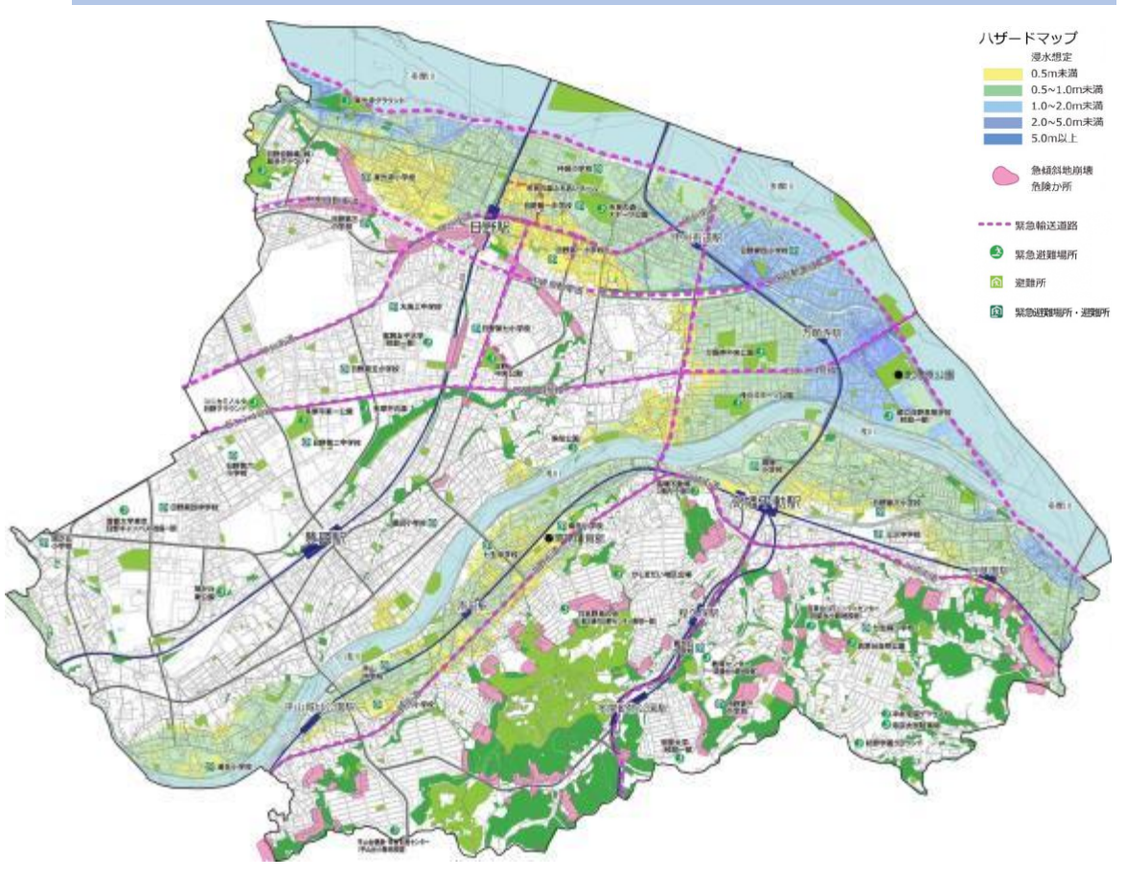
①災害に強いまちづくりの推進

●木造住宅や狭あい道路等が多く、**相対的に基盤が十分ではない市街地**は、**区画整理事業や地区計画の導入**により良好な住環境を創出していきます。…⑨
●**土砂災害への対応**として、崖地の安全性確保に向けた取り組みを推進するとともに、**災害危険度の高い斜面地の居住規制**などを検討していきます。…⑪
●**風水害への対応**として、浸水想定区域に対して**自主避難の早期指示を優先的に行う**とともに、**垂直避難**（高層建物等への避難）**が可能な、集合住宅や小学校等の公共施設等の確保**を進めていきます。…⑫
●防災対策の強化に向けて、**地域防災計画**を改訂します。（避難所の追加（新南平体育館）、北河原公園を大規模救出救助活動拠点の一部として活用 等）…⑬
●市街地の安全性向上に向けて、駅や公共施設、規模の比較的大きい民間施設等の**再整備の機会を捉え、防災施設等の整備**を実施していきます。…⑩

②犯罪や事故が起こりにくい環境の整備

● 空き家、空き地が増加する地区に対して、エリアマネジメントの観点を導入し、**地域の防犯力を高める施策**を推進します。

③環境負荷の少ない、自然に配慮したまちづくりの推進



・日野市空き住宅等対策計画 （PDF 4.7MB）

基本方針２　暮らしの舞台を支えるまち

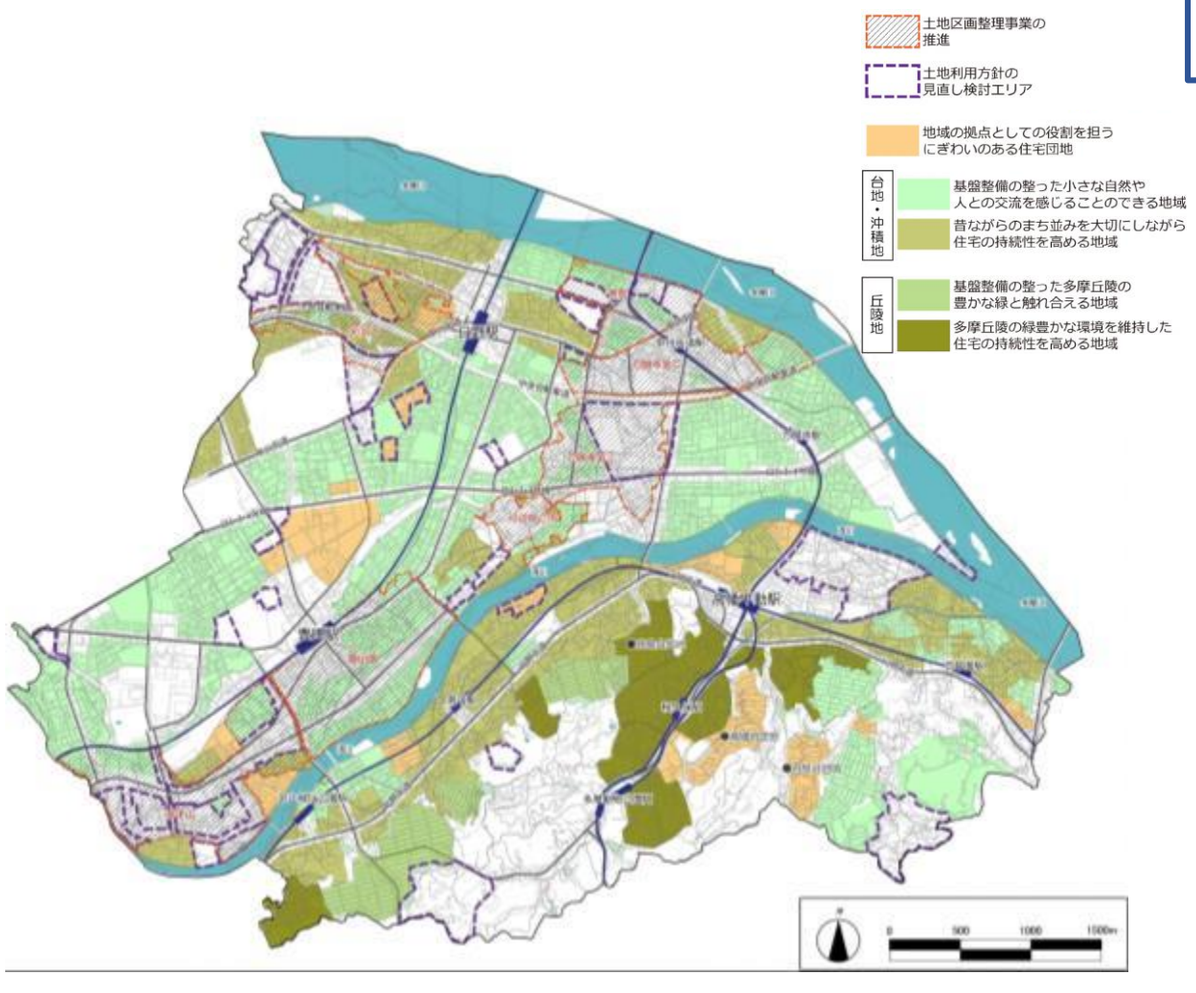
２－２．地域の特性を活かした、持続可能なまちづくりを進める

①人口減少社会を見据えた都市基盤整備

●高齢者が子どもや孫の世代と住み慣れた地域に住み続けることができるよう、自然環境や農地等に配慮しながら**土地区画整理事業**を進めていきます。
●施設の有効活用、市民の生活の質の向上の観点から、隣接市との**公共公益施設の相互利用**について隣接市と連携し推進していきます。…⑱

②成熟した既存住宅地の維持・管理…⑲

●工業地域及び準工業地域及びその周辺部において、企業及び住民の合意に基づくルールを定め、**住工共存のまちづくり**を進めていきます。
●**空き家**に関しては、日野市空き住宅等対策計画に基づき、**管理がされず近隣に迷惑をかける空き家の解消**、**不動産流通の促進**、**地域に資する空き家の整備費補助**及び**空き家活用の促進**等を進めていきます。…⑳㉑
●**既存不適格マンション**など用途地域の方針と実態が異なる土地では、社会情勢や市の土地利用方針に合わせて**用途地域の見直し**を進めていきます。…㉔



③成熟した生活基盤を守り支える維持管理の推進…㉒

●改修計画に基づき、道路や橋梁等の**計画的・継続的な維持補修**を進めていきます。
●公共施設については、民間施設との複合化の検討や、人口増減を踏まえた施設の増改築等を検討していきます。

２－３．多様化する暮らし方を選択し、実現できるまちづくりを進める

①希望する働き方や暮らし方ができる環境の整備

●子ども家庭支援センターや子育て広場の対応力を強化するとともに、**多世代が集まって子育てを支援するような交流の場**や、**子育て世代の在宅ワーク**を支援する施設等を各地域に充実させていきます。
●多様な働き方を実現するため、**住宅地におけるサテライトオフィスやコワーキングスペース**等を、地域の特性に応じて整備できる環境づくりを進めていきます。…㉕

②ライフステージに合わせて選択できる多様な住まいの提供

●**シェアハウス**のような**新しい居住形態を促進**できるような、多様化する暮らしを支える仕組みを検討し、選ばれる住宅地を目指していきます。…㉖
●自分のライフステージあわせて丘陵部の戸建住宅から低地部あるいは台地部の共同住宅等へ移り住むなど、市内で**スムーズに住み替えを行うことのできる仕組み**等を検討していきます。
●**住み慣れた地域で生き、看取られる**、暮らし・福祉・医療を展開していきます。
（多摩平の森の医療福祉連携ゾーン、平山、高幡台団地）
●日野市生涯活躍のまちづくりによる施策の展開
（具体的な施策を確認し記載予定）…㉗

基本方針２　暮らしの舞台を支えるまち

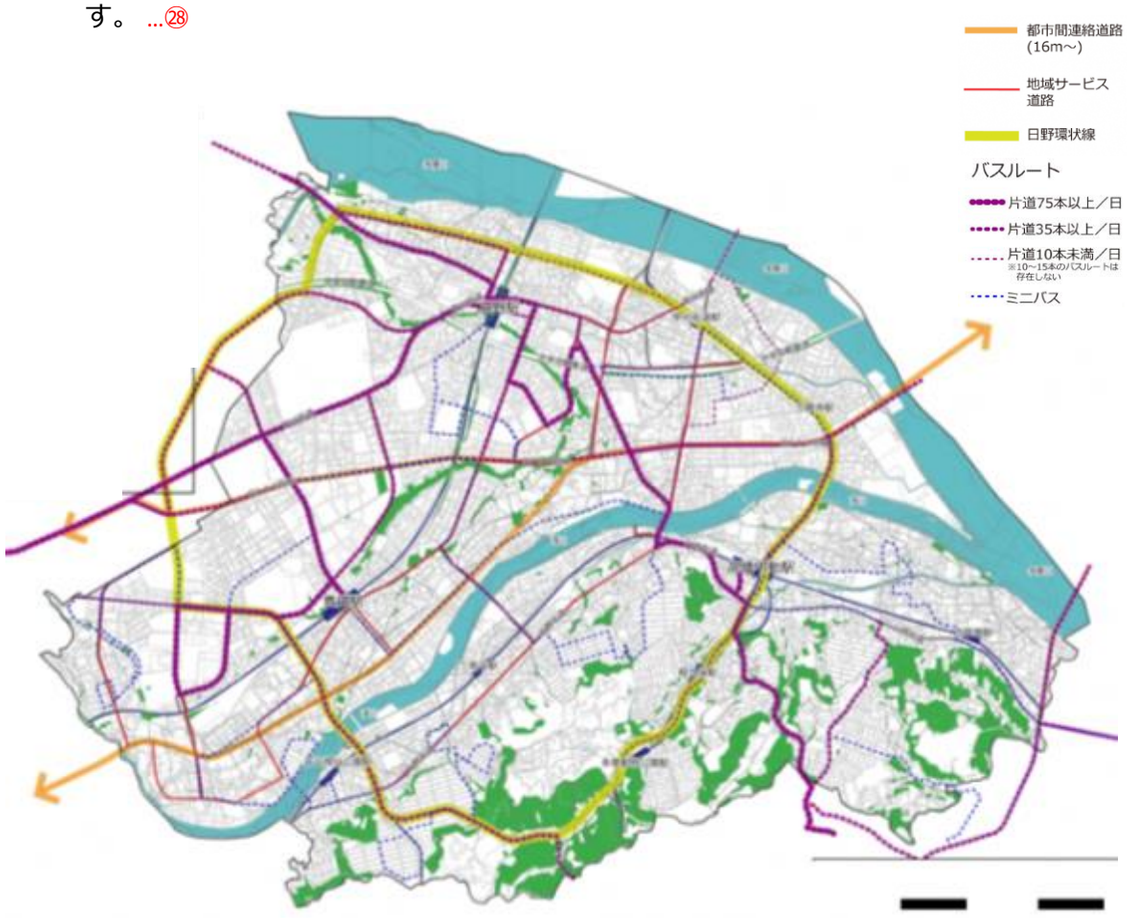
２－４．たくさんの人・もの・情報が交差するまちをつくる

①人・もの・情報がスムーズに行き交う道路網の充実

●広域幹線道路である**日3・3・2号線、日3・3・4号線**を整備･活用していきます。
●広域交通機能を果たしている甲州街道、北野街道、川崎街道での通過交通を排除し、沿道の生活に密着した道路としていきます。
●**日常の移動や生活を支える役割を担う幹線道路**については、広域幹線道路や日野環状線などと接続し、生活の利便性を向上させるようネットワークを形成
●自転車シェアリングの仕組みづくり（テーマ別意見交換会より）
●車椅子も安全に通行できる歩道の整備（テーマ別意見交換会より）

②暮らしを支える公共交通網の充実

●幹線バス路線網を補完し地区ごとのきめ細かいバスサービスを行う密度の高いネットワーク化を図った支線バス網の整備等を検討していきます。
●既存の交通システムの路線やダイヤの見直しだけではなく、**デマンド型交通や住民運転型コミュニティ交通などの地域住民との協働事業**、タクシー運転業者との連携などの新たな手法を用いて、**地域の実情に応じた対応策**を検討していきます。 …㉘



２－５．一人ひとりが個性を輝かせ、地域で支え合う環境をつくる

①地域コミュニティの継続支援

●市民と行政が連携し、地域について考え、地域毎の活性化に向けた課題を考え対策を検討し、実行に移すためのきっかけづくりの場である**地域懇談会**を開催し、**アクションプラン**を実施していきます。
●地域活動の拠点となる施設等については、住宅地内の**空き家等の活用**や、小学校の統廃合によって生じる**空き教室など既存施設の活用**も視野に入れ、地域活動の拠点となる場を確保していきます。

②地域コミュニティが中心となる福祉対策の推進

●地域ごとのまちづくりと地域包括支援センターを核とした在宅医療・在宅介護サービスの充実、地域住民による高齢者の支援体制の充実、高齢者が健康で自立した生活を営むための支援の充実等を柱とする**地域福祉計画との連携**を図っていきます。
●地域の中の身近な場所で、高齢者が気軽に利用できるふれあいサロン等の拠点の整備・運営を支援するとともに、より地域に開かれた**多様な高齢者の集いの場**を確保していきます。

③地域の魅力や価値の維持・向上

●丘陵部住宅地など、今後の人口減少や高齢化への対応が課題となる地区においては、**市民主体のまちづくり提案制度（市まちづくり条例）の推進**、空き家の利活用、都市空地の利活用、住み替え等を推進していきます。
　また、市民活動を受け入れるための都市計画制度となる**建築基準法48条但し書き許可**や**地区計画**、特別用途地区等の活用については、地域の状況に応じて、地域住民の意見を聞きながら、**要望にあった制度の活用**を検討していきます。 …㉚㉛
●**人材センター**については、派遣業サイトへの登録や介護や女性による保育など事業を拡大し、高齢になっても地域で活躍できる機会の充実を図ります。 …㉜
●地域住民やNPOで高齢者等を送迎するサービス等の検討支援（テーマ別意見交換会より）

基本方針３　人々が活発に活動するまちをつくる

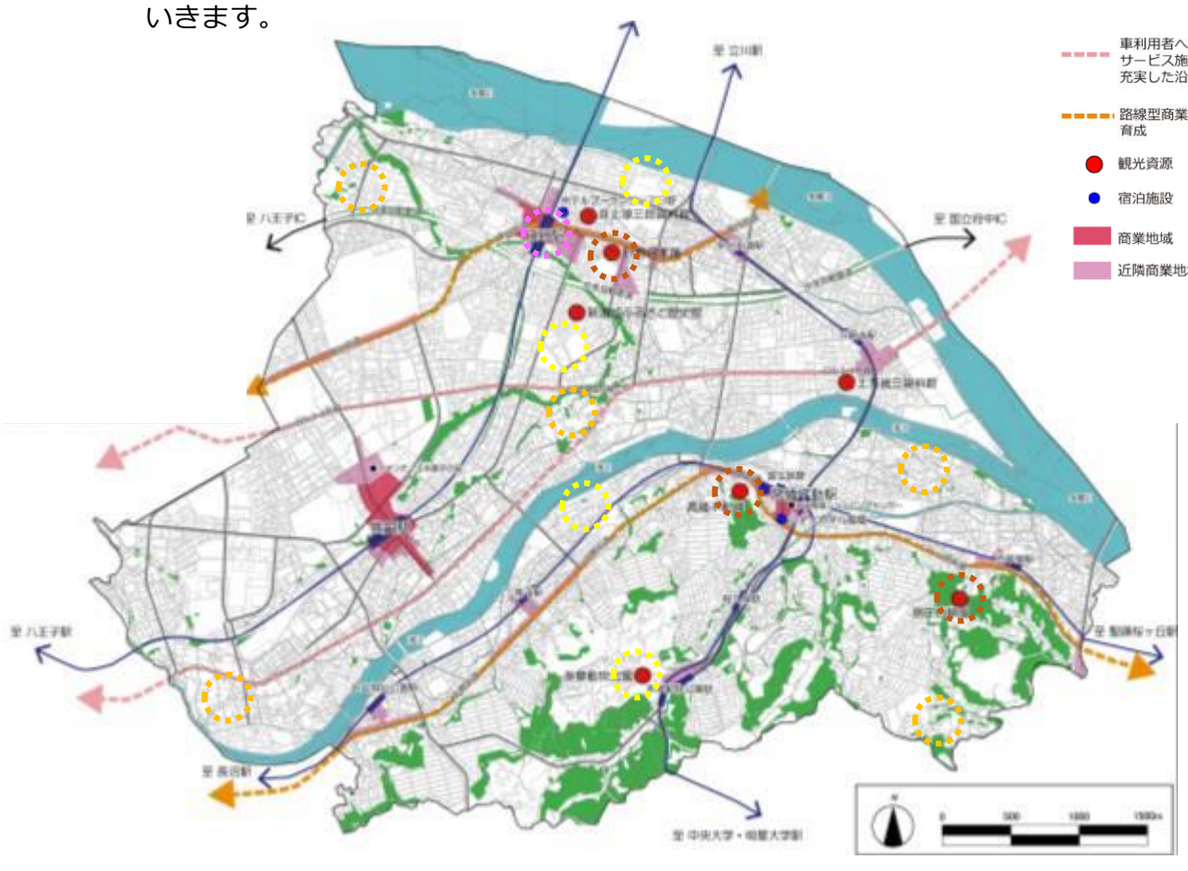
３－１．買い物やレクリエーションなど毎日の暮らしを楽しむまちをつくる

①ライフスタイルに合わせて自由に買い物ができる環境の整備

●**交流拠点**（日野、豊田、高幡不動駅）においては、来訪者が多く、また、さまざまな人々が住み、働き、遊ぶ重層的な空間形成を目指し、歩行者を中心としたまちづくりを進めていきます。
●身近な地域の中で買い物ができる環境の充実、**拠点の役割に応じた商業環境の整備**に向けて、**立地適正化計画を活用**し、必要な**都市機能の誘導**を図っていきます。…㉝
●市民や来訪者の回遊性を向上するため、統一された**分かりやすい公共サインづくり**や看板類のガイドラインづくりを検討していきます。…㉟

②内外から人が集まりにぎわう拠点づくりの推進

●商工会による**観光まちづくりプラットフォーム**等と連携し、日野市の地域資源である**水路や緑地等の自然**と、日野宿や高幡不動尊などの**歴史の要素を相互につなげる面的な観光施策**を推進していきます。…㊱
●訪日外国人旅行者 が増加しているなか、国際化対応の観点から、**インバウンド誘客に向けた情報発信**や **受入環境の整備**など、外国人目線のまちづくりを検討していきます。…㊳
●多摩地域の各市との連携により、多摩地域全体としての観光の活性化を図っていきます。



３－２．日野のまちづくりと共に歩んできた産業とこれからも共に歩む

①工業を活性化するまちづくりの推進

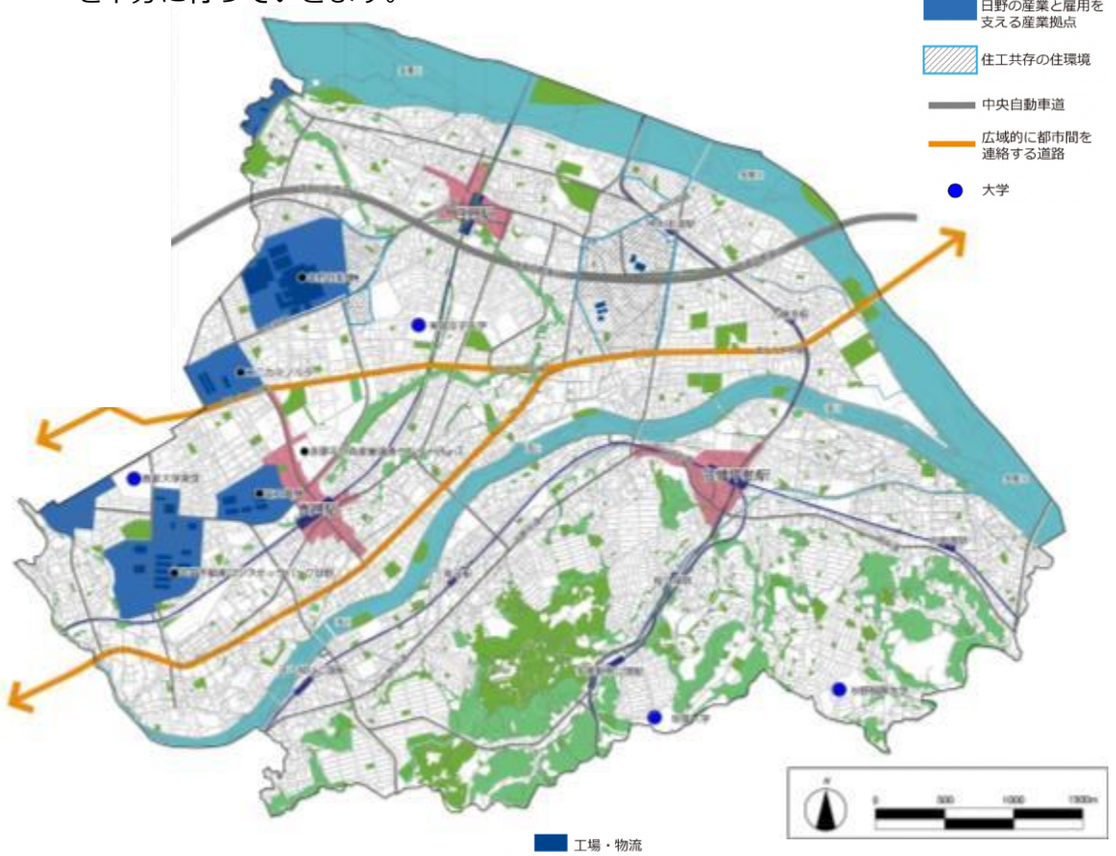
●工業を支える自動車交通などの効率化を進めるため、**広域幹線道路等の整備**や、物流を支える**交通ターミナル等の整備**を検討していきます。…㊷
● 企業活動を広く市民に伝える活動や、事業者ノウハウを市民や地域に還元する活動として、**リビングラボ等の実施を支援**していきます。…㊸

②住宅都市の特性を活かした新たな産業の育成

●医療・健康との連携による産業振興として、**ヘルスケア･ウェルネス戦略の推進**、多摩平の森地区まちづくり事業と豊田駅南口の土地区画整理事業との一体的な駅周辺まちづくりを推進していきます。
●高齢化問題などの課題を抱えている住宅地や団地は、**企業にとって新しいマーケット**となる可能性があるため、**新しい産業の誘致・創出**をまちづくりとともに進めていきます。…㊵

③地域と共存する土地利用転換の誘導…㊶

●大規模工場跡地等の敷地における今後の土地利用については、**予め土地利用について特別協議が必要な地域**と指定しておくことにより、関係者での事前協議を十分に行っていきます。



基本方針３　人々が活発に活動するまちをつくる

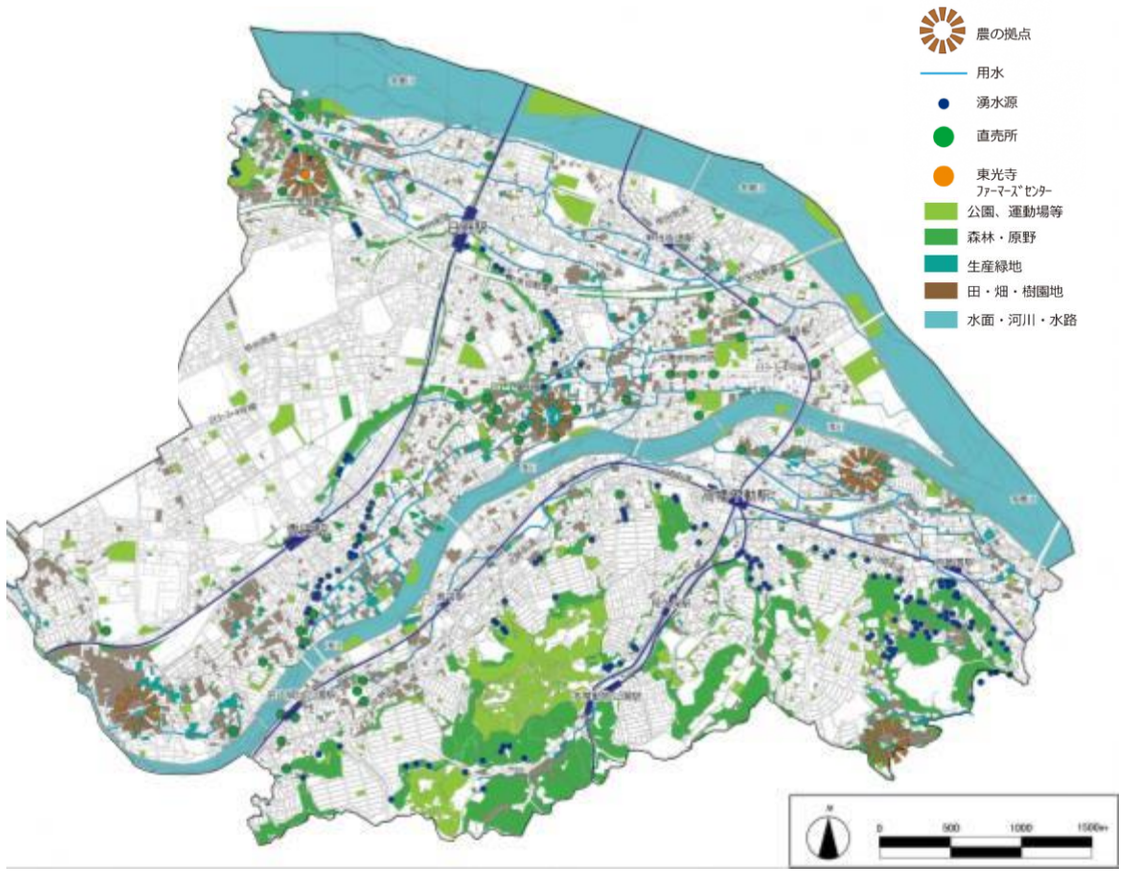
３－３．農地のある暮らしを次世代へつなげる…㊺

①市民との協働による農地の維持…㊻

●農地を保全する土地区画整理事業を推進していきます。
●都市緑地法や都市公園法、生産緑地法等の改正による新規施策として、生産緑地面積要件の緩和による**小規模農地の集約**、**田園住居地域の指定**による農地の開発規制等、都市農地の保全・活用を図っていきます。
●市民主体のまちづくり等の制度や仕組みを利用し、**民間活力による農地保全を促進し**、**情報共有及び意見交換できるような場**を設けます。…㊼

②生産者と消費者とが協力して次世代へつなげる農業の確立

●都市公園法や生産緑地法等の改正による新規施策として、**生産緑地地区内の直売所**や**農家レストラン**の設置等、**農業を身近にする交流の場**の整備を進めます。
●**農地の公有地化**や、残すべき農地の検討等、**農業振興における食育**や学校給食の利用率達成に寄与するような**農地保全施策**を検討していきます。…㊽



○大坂上中学校地域

	日野の玄関のあるまち
自然・農地	●多摩川の流れ、湧水、崖線の緑等、身近な自然や農を守り・活かす。 ●ファーマーズセンターを中心に東光寺周辺の農地･用水を活かし、農あるまちづくりを進める。
住宅地・生活基盤	●市役所や大学、中央公園など、多くの人が集まる公共施設の集積を活かし、コミュニティの拠点を創る。 ●新町周辺の生活道路等を整備し、安全性と暮らしやすさを高める。
拠点・産業	●日野の玄関口である日野駅周辺に賑わいと安らぎのある空間を創る。 ●日野自動車工場の移転後も、日野を支える産業拠点等として、地域と共存・連携する跡地の活用を検討する。

コア会議からの追加事項

＜新町＞
・今後の住宅の増加に対し、緑や農地の保全、農地と宅地との共存を目指す。
＜神明、大坂上、多摩平＞
・利便性の高い立地条件をふまえ、行政・実践女子大学・商工会議所で連携し、高齢者が暮らしやすい地域づくりや、子育て世代の転入促進を進める。
＜その他＞
・土砂災害や風水害への対応が必要な地域があることに留意する。

○第一中学校地域

	かつての日野人の心が息づくまち
自然・農地	●市民の森スポーツ公園、仲田公園などの緑豊かな環境を、多くの人が集まる水と緑の拠点とする。 ●万願寺中央公園周辺を、浅川や水路などを回遊できる、水と緑の拠点とする。
住宅地・生活基盤	●日野駅周辺の人口増に対応して、医療施設や子育て支援施設を誘導する。 ●特養、優良老人ホームなど福祉施設の集積するエリアで、安心して暮らせるまちづくりを進める。
拠点・産業	●日野駅から甲州街道沿いでは旧日野宿本陣等を活かして風情と賑わいのある空間を創る。 ●モノレール甲州街道駅、万願寺駅周辺を福祉施設や商業施設を活かした生活拠点とする。 ●昔からの工場が操業継続できる、住工が共存する活力ある地域へ再生する。

コア会議からの追加事項

＜万願寺＞
・果樹園や農地の保全に配慮した宅地開発を進める。
・野球場やサッカー場は、地域のレクリエーション拠点と位置付ける。
・高齢者施設の周辺には、健康づくりを行える場の整備を検討する。
＜日野本町、日野＞
・高齢者施設や子育て施設が充実した地域づくりを進める。
＜その他＞
・自然の資源がある一方、風水害への対応が必要な地域であることに留意する。

○第二中学校地域

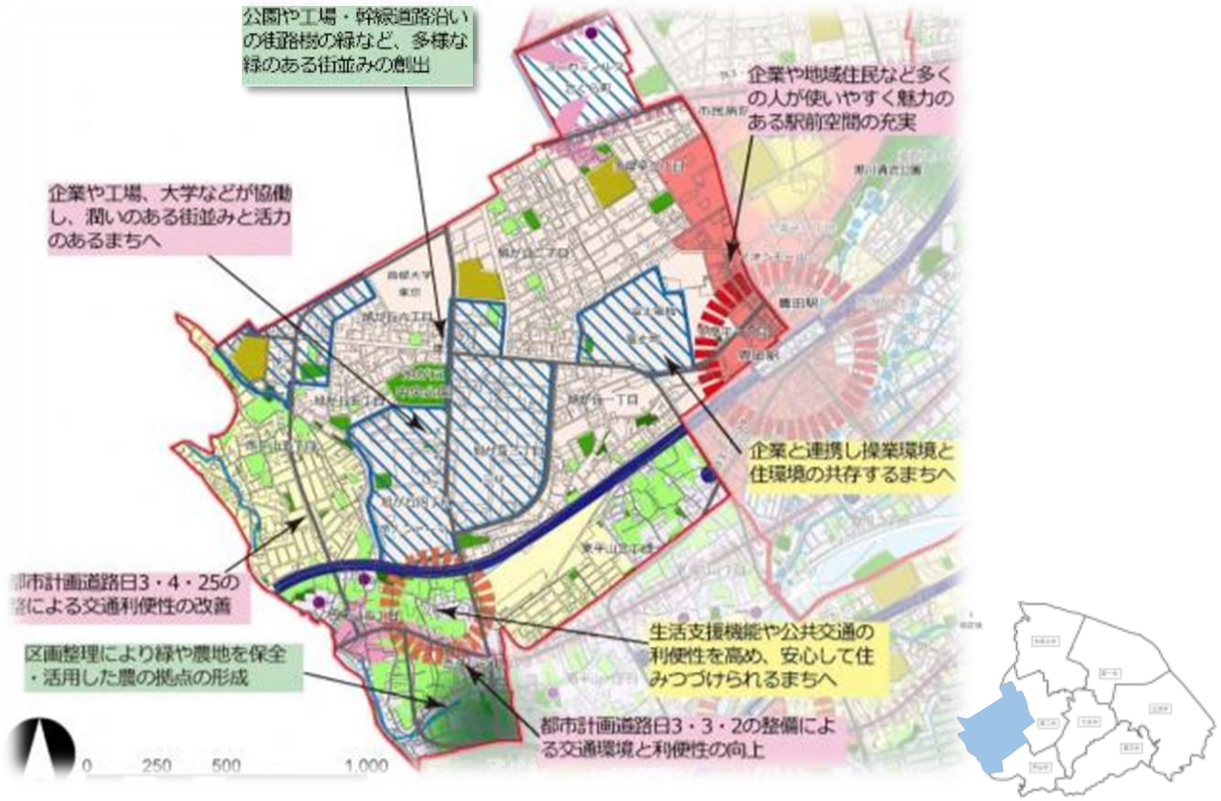
	緑の丘と水音が聞こえるまち
自然・農地	●崖線の雑木林や湧水等の、多様な自然が残された清流公園などを保全・活用していく。
住宅地・生活基盤	●日野台周辺の狭隘道路を改善し、歩きたくなるまちづくりを進める。 ●豊田駅北側は医療・福祉施設等の集積を活かし、高齢者が安心して暮らせる住環境を形成する。 ●豊田駅南側は土地区画整理事業に併せ、浅川沿線の緑や農地と共存する街並み形成を進める。
拠点・産業	●豊田駅北口は、多摩平の森計画で進められた商業施設や交流施設の整備を活かし駅周辺の活力を更に向上させる。 ●豊田駅南口は、区画整理事業にあわせて親しみのある地元密着の商業地を形成する。

コア会議からの追加事項
<多摩平> ・UR団地や高齢者施設のある良好な住環境があり、周辺住民の生活支援も考慮して必要な機能の整備を進める。 <日野台> ・生活道路の整備等による歩きやすいまちづくりの推進、建替え促進、空き家活用を進める。 <その他> ・黒川清流公園は大規模な整備ではなく、設えの工夫等により明るい公園づくりを進める。 ・豊田～南平をつなぐ人道橋は、財政状況をみながら整備を検討していく。

○第四中学校地域

	緑の丘に産学民が共に歩むまち
自然・農地	●公園や工場・幹線道路沿いの街路樹の緑など、多様な形の緑のある街並みをつくる。 ●西平山の緑や農地を保全・活用しながら区画整理を進め、農の拠点を創る。
住宅地・生活基盤	●数多く立地する企業と連携し、操業環境と住環境の共存するまちづくりを進める。 ●西平山では、生活支援機能や公共交通の利便性を高め、安心して住みつづけられるまちづくりを進める。
拠点・産業	●豊田駅北口は、周辺の企業・地域住民など多くの人が使いやすく魅力のある駅前空間として整える。 ●企業や工場、大学などが協働し、潤いのある街並みや活力あるまちづくりを進めていく。

コア会議からの追加事項
<富士町、旭ヶ丘> ・企業にとって快適に通勤・勤務できる環境を創出する。 ・交通、農業、医療などライフテクノロジーをテーマにした産官学の連携を促進する。 <西平山> ・老朽建物の建替えを促進し防災性と居住環境の向上を図る。 <その他> ・増加が想定される小中学校の空き教室の活用方法を検討する。（高齢者支援機能、企業と大学の協働の研究室など） ・既存の集会室等を利活用し、市民が気軽に利用できる場を創出する。



○平山中学校地域

	浅川と緑のふところに抱かれたまち
自然・農地	●中央の浅川、南に広がる多摩丘陵の豊かな自然や眺望を守る。 ●西平山の緑や農地を保全・活用しながら区画整理を進め、農の拠点を創る。
住宅地・生活基盤	●京王線沿線では、生活道路等の整備により、安全で緑豊かな住宅地を形成する。 ●平山の丘陵部住宅地の街並みと住環境を残しながら、高齢者が住み続けられるよう生活支援機能や移動環境を整えていく。
拠点・産業	●平山城址公園駅周辺は、さまざまな世代でにぎわう生活サービス機能の充実した生活拠点を形成する。 ●日野バイパス延伸部には、広域および地域の生活利便性を高める沿道サービス施設を誘導していく。

コア会議からの追加事項

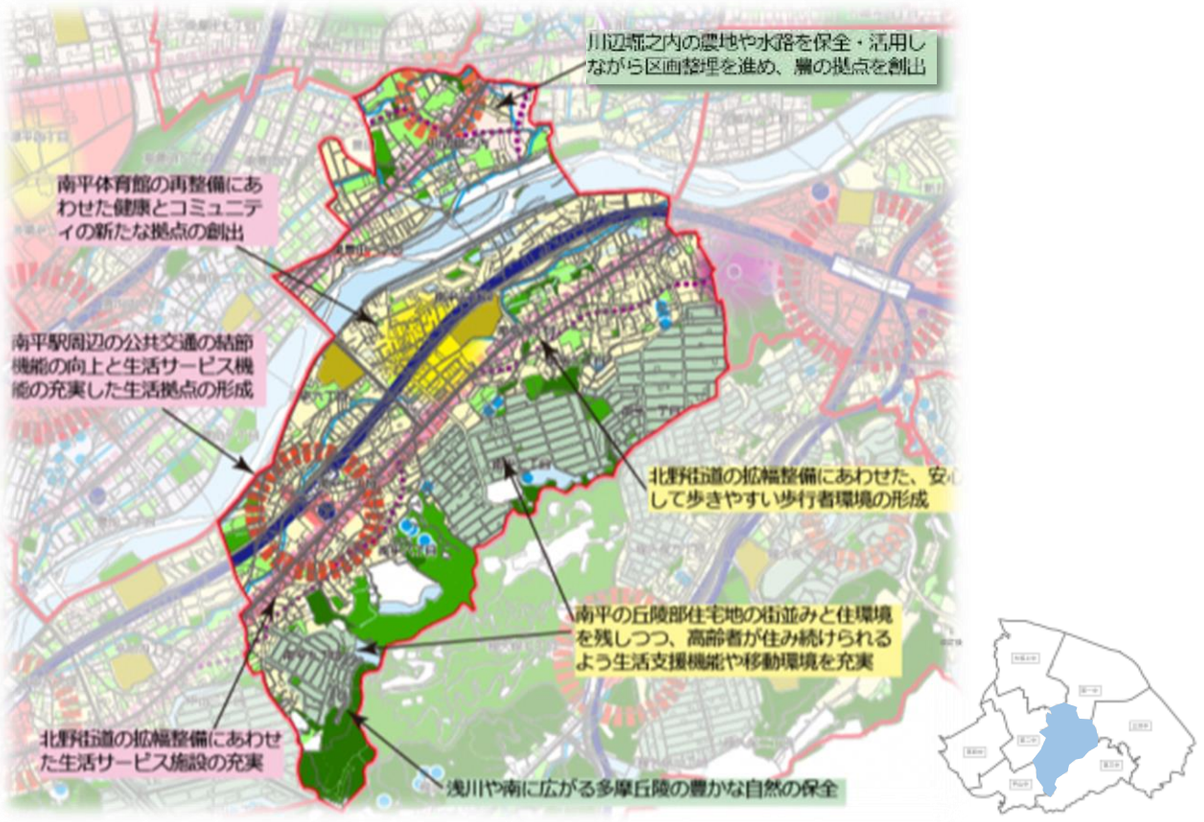
＜丘陵部住宅地＞
・地域と自治会の状況に応じて、住民補填型の公共交通の導入も検討する。
・住宅団地は規則的な道路構成を備えており、自動運転の導入も視野に入れる。
・空き家・空き地を活用したバス停の整備、電動車椅子等の充電スタンドの設置。
＜その他＞
・川沿いや既存施設に、自転車やランナーが休めるランナーズステーションの整備。

○七生中学校地域

	日野の原風景である農と水路のあるまち
自然・農地	●北に流れる浅川、南に広がる多摩丘陵の豊かな自然を守る。 ●川辺堀之内の農地や水路を保全・活用しながら区画整理を進め、農の拠点を創る。
住宅地・生活基盤	●北野街道の拡幅整備にあわせて、安心して歩きやすい歩行者環境を整えていく。 ●南平の丘陵部住宅地の街並みと住環境を残しながら、高齢者が住み続けられるよう生活支援機能や移動環境を整えていく。
拠点・産業	●南平駅周辺は、公共交通の結節機能を高め、生活サービス機能の充実した生活拠点を形成する。 ●北野街道の拡幅整備にあわせて生活サービス施設を充実していく。 ●南平体育館の再整備にあわせて、市民の健康やコミュニティの新たな拠点を創る。

コア会議からの追加事項

＜丘陵部住宅地＞
・地域の生活拠点を創出するため地区計画や用途地域の見直し、空き家のリノベーション等を検討する。
・若い世代を対象とした丘陵部住宅地への居住ニーズ調査の実施。
＜川辺堀之内＞
・道路整備と合わせて、沿道に地域の生活利便施設等の立地を誘導する。
＜南平体育館＞
・南平体育館は、地域のコミュニティ、健康・スポーツ、防災の拠点と整備していく。

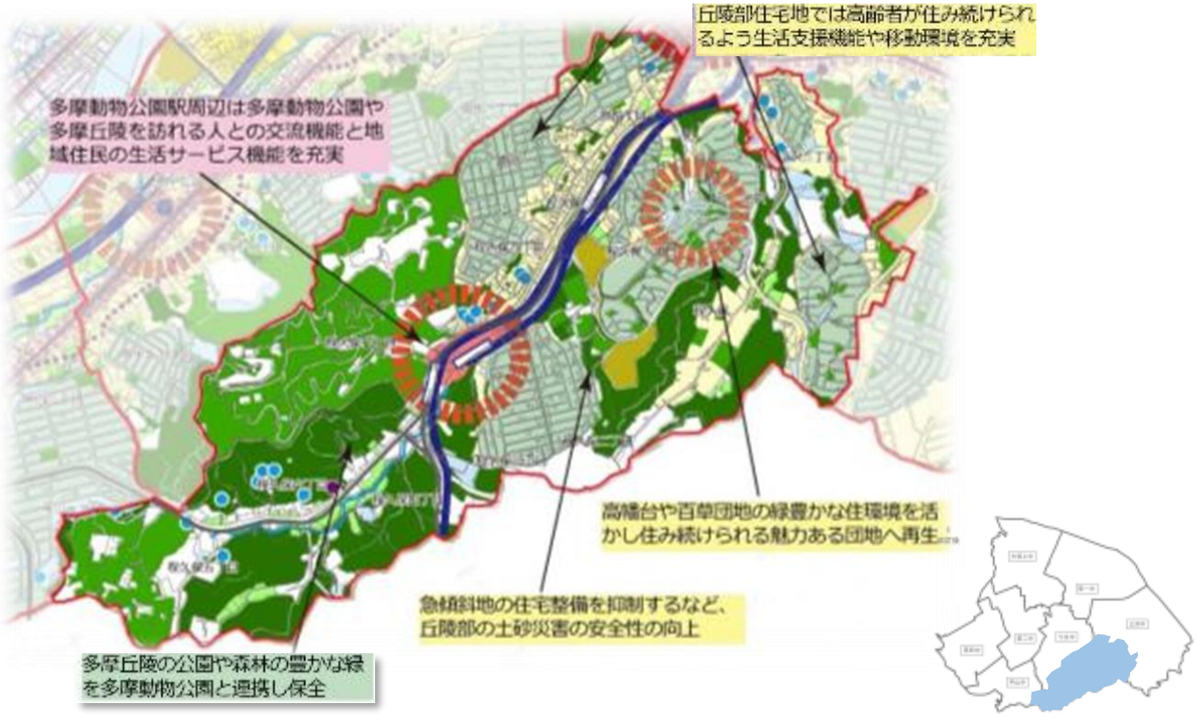


○第三中学校地域

	多摩丘陵の玄関のまち
自然・農地	●多摩丘陵の公園や森林の豊かな緑を多摩動物公園と連携し保全していく。
住宅地・生活基盤	●丘陵部では、急傾斜地の住宅整備を抑制するなど、土砂災害の安全性を高める。 ●程久保の丘陵部住宅地では、高齢者が住み続けられるよう生活支援機能や移動環境を整えていく。 ●高幡台や百草団地の緑豊かな住環境を活かし、住み続けられる魅力ある団地へ再生していく。
拠点・産業	●多摩動物公園駅周辺は、多摩動物公園や多摩丘陵を訪れる人との交流機能や、地域住民の生活サービス機能を充実していく。

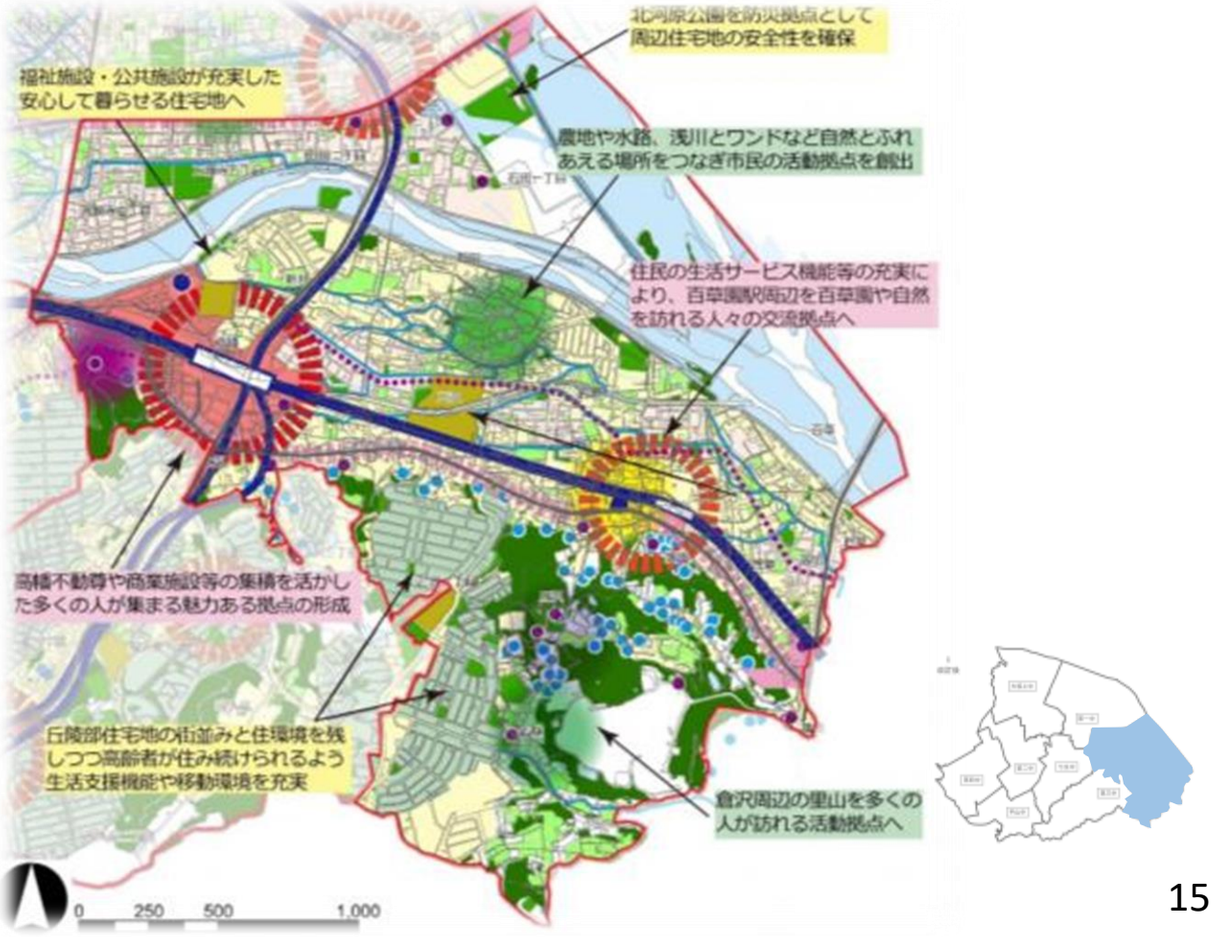
コア会議からの追加事項

＜程久保＞
・大学に関連した施設など、多摩テック跡地の活用方法を検討する。
・多摩テック跡地、多摩動物公園駅、東京薬科大学等をつなぐ交通ネットワークの強化を検討する。
＜丘陵部住宅団地＞
・団地内の多様な働き方を可能にするシェアオフィスやテレワークステーション等の整備を促進する。
・立地適正化計画を活用し、丘陵部住宅地に必要な生活拠点機能や誘導方策について検討する。
＜その他＞
・民地の緑地の保全・促進策の検討
・斜面地へのエスカレーター整備
・程久保-南平間のバスルートの拡充



○三沢中学校地域

	高幡不動と里山が息づくまち
自然・農地	●農地や水路、浅川と程久保川合流点ワンドなど、自然とふれあえる場所をつなぎ市民の活動拠点とする。 ●倉沢周辺の里山を、多くの人が訪れる活動拠点とする。
住宅地・生活基盤	●北河原公園を防災拠点として周辺住宅地の安全性を高める。 ●三沢の丘陵部住宅地の街並みと住環境を残しながら、高齢者が住み続けられるよう生活支援機能や移動環境を整えていく。
拠点・産業	●高幡不動駅周辺は、高幡不動尊や商業施設等の集積を活かし、多くの人が集まり魅力ある拠点を形成する。 ●百草園駅周辺は、住民の生活サービス機能の充実や、百草園や自然を訪れる人々の交流拠点としていく。

コア会議からの追加事項

＜高幡不動駅周辺＞
・駅北側の住宅地の改善手法（基盤整備や地区計画等）を検討する。
・市南部に不足している、地域の拠点づくりを、既存の施設配置（福祉施設や文化施設等）や全市的な人口動向を踏まえて検討する。
＜新井、百草＞
・落川交流センターと新井の農地の一体的な保全と連携を検討する。
・倉沢に残る自然の保全策（都市計画緑地に指定等）を検討する。